

*** 乗鞍コロナ観測所にあった玉屋の経緯儀（トランシット）収蔵**

アーカイブ室新聞 49号（2008年8月6日発行）に「乗鞍にあった TAMAYA のトランシット」という記事を書いた。この時は、国立天文台歴史探検隊として乗鞍コロナ観測所を訪れた時の記事である。

この記事を読んだ相模原在住の方から、そのトランシットにそっくりのものを持っているという情報をいただき、そのトランシットをお譲りいただいたと、アーカイブ室新聞 256号（2009年12月14日発行）「玉屋のトランシット寄贈」という記事を書いた。

2010年3月末をもって、乗鞍コロナ観測所が閉所されるのを機に、乗鞍コロナ観測所にあったこのトランシットをアーカイブ室に譲っていただいた（写真1）。



写真1 乗鞍コロナ観測所から譲渡されたトランシット

玉屋は、現在もその末裔が存在する日本の測量機器のメーカーである。玉屋についてはアーカイブ室新聞 49号の記事を参照していただきたい。玉屋の経緯儀については何度かア

アーカイブ室新聞に登場している。最も大規模なものは、明治末期に東京天文台の注文で造られた天文経緯儀（図1）である。この経緯儀については、アーカイブ室新聞8号(2008年5月14日発行)「1875年 TROUGHTON & SIMMS 天文経緯儀と TAMAYA & CO. GINZA TOKYO の天文経緯儀」という記事がある。

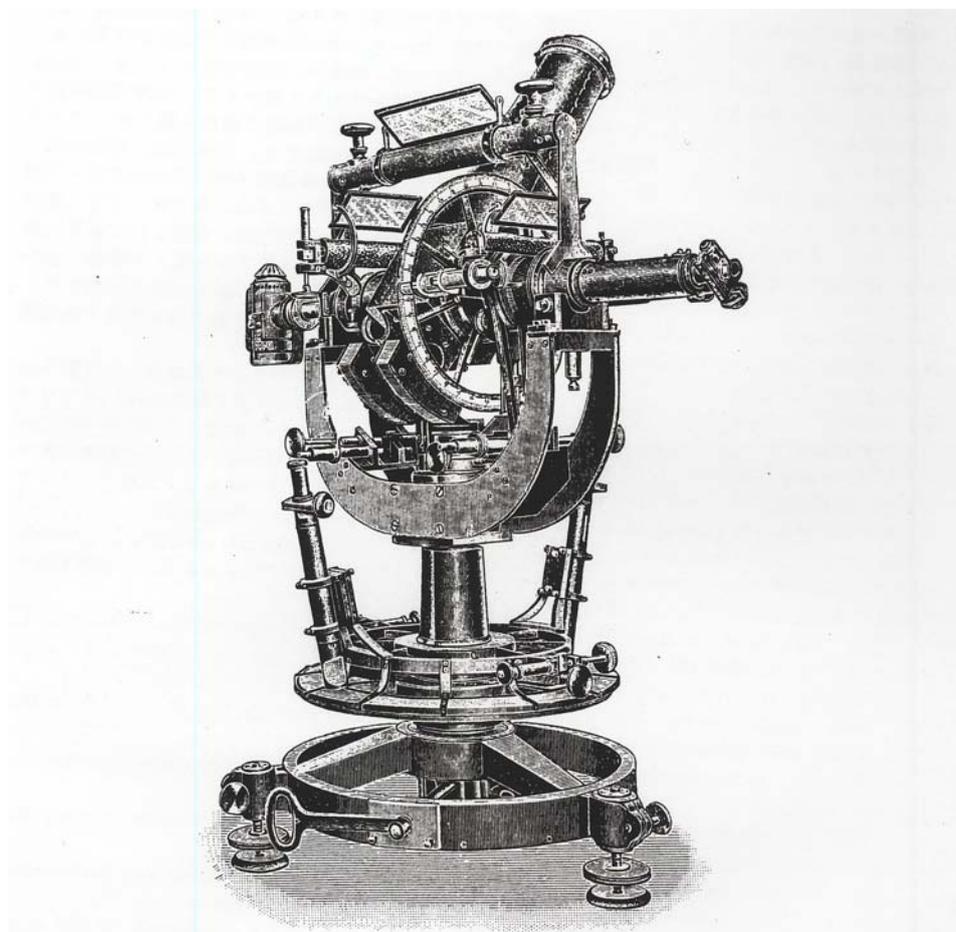


図1 玉屋の天文経緯儀

玉屋の経緯儀などの製品についてのアーカイブ室新聞記事をまとめておく。

- 1) アーカイブ室新聞8号(2008年5月14日発行)「1875年 TROUGHTON & SIMMS 天文経緯儀と TAMAYA & CO. GINZA TOKYO の天文経緯儀」
- 2) アーカイブ室新聞26号(2008年6月18日)「日本製初の本格的望遠鏡 TAMAYA 経緯儀仮架台部品の製作」
- 3) アーカイブ室新聞41号(2008年7月10日)「日本製初の天文経緯儀の図を一戸直蔵の天文書に発見」
- 4) アーカイブ室新聞156号(2009年3月25日)「玉屋牛方式ポケットコンパス收藏」
- 5) アーカイブ室新聞256号(2009年12月14日)「玉屋のトランシットの寄贈」

ここで、天文機器資料館に收藏してあるユニークな形をした経緯儀の記事がないことに気がついた。次号以降にその玉屋の経緯儀を紹介する。